

# 医大附属病院周辺地区 市民ワークショップ かわら版

(VOL. 3)

平成 30 年 11 月発行

## 医大附属病院周辺地区

### 第 3 回市民ワークショップを開催しました！

平成 30 年 10 月 20 日(土)に、医大附属病院周辺地区の第 3 回市民ワークショップを開催しました。

当日は 21 名の市民の皆さまにご参加をいただき、第 2 回のワークショップで議論していただいた、対象エリアの「健康」「交流」「生活・暮らし」の 3 つのテーマで必要と考えられる機能や施設、取り組みに対して、優先順位と東西エリアの配置についてご意見をいただきました。



ワークショップの様子

開催日時:平成 30 年 10 月 20 日(土)

13 時 30 分～16 時 30 分

会 場:大和信用金庫八木支店 3 階第 1 会議室

#### 市民ワークショップの流れ

【 第 1 回 市民ワークショップ 】 8 月 25 日開催 済  
【テーマ】

- 橿原市・対象地周辺の魅力について
- 対象地周辺の課題や改善したいところについて

【 第 2 回 市民ワークショップ 】 9 月 15 日開催 済  
【健康」「交流」「生活・暮らし」の 3 つをテーマに、必要と考えられる機能や施設、取り組みについて

【 第 3 回 市民ワークショップ 】 10 月 20 日開催  
まちづくり検討エリアに必要な機能の抽出と配置について

【 第 4 回 市民ワークショップ 】 11 月 17 日開催  
第 1 回から第 3 回の討議をまとめたワークショップ案の作成



#### 第 3 回ワークショップのまとめ

今回は、第 2 回市民ワークショップで出された 101 のアイデアのなかから、検討エリアにおいて必要と思われる機能や施設、取組みについて各班で 10 ずつ抽出、順位づけをしました。さらに、それらが新駅予定地の東西どちらのエリアにあるほうが望ましいかについて意見交換し、結果は次のようになりました。

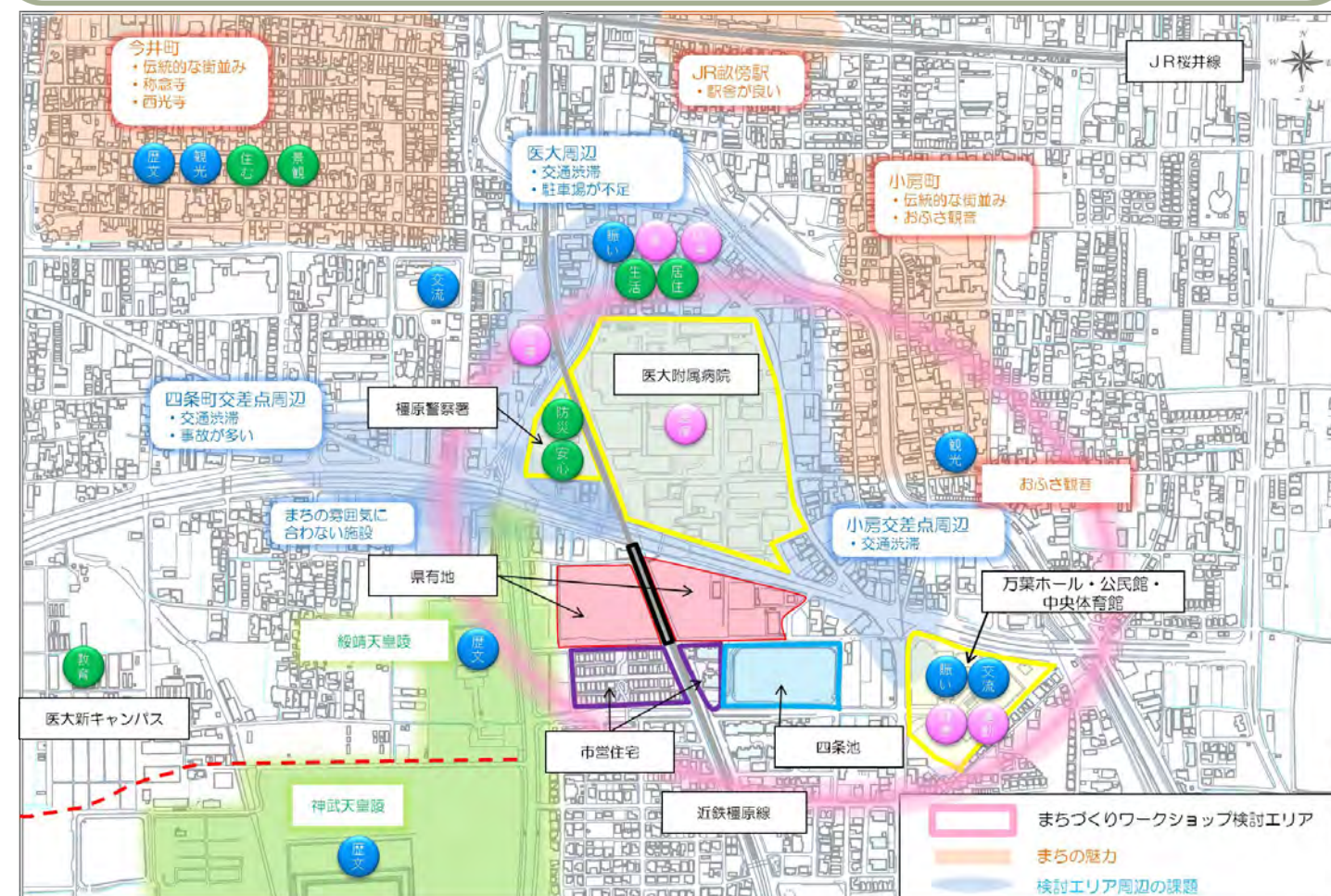
最も多くの班に選ばれた機能や施設、取組み(5 班中 3 班)

- 【健康】 地産地消のレストラン
- 【健康】 入院患者の家族の滞在用ホテル
- 【生活・暮らし】 学生寮
- 【交流】 ペDESTリアンデッキ ※
- 【生活・暮らし】 公園(四条池の有効活用、緑との調和、防災) ※

※類似項目を合わせて 5 班中 3 班に選ばれたもの

その他、各班の主な意見については、裏面にご紹介しておりますのでご覧ください。

#### まちづくりワークショップ検討エリアとテーマ



\*このまちづくりワークショップ検討エリアをもって事業が進む訳ではありません。  
\*市営住宅については住替え計画に基づく事業が進めば将来的にエリアへの編入を検討するものです。

#### 健康

- ・食・地産地消
- ・運動・スポーツ・フィットネス
- ・長寿・生きがい
- ・福祉・癒し
- ・医療(治療、予防、終末期医療)
- ・その他

#### 交流

- ・歴史・文化・伝統行事
- ・コミュニケーション・多世代交流
- ・観光・滞在
- ・にぎわい・産業・イベント
- ・情報発信・ブランディング
- ・その他

#### 生活・暮らし

- ・住む・働く
- ・教育・学び
- ・子育て・ファミリー
- ・緑・環境・景観
- ・安全・防災・安心
- ・その他

※上記は、第 2 回ワークショップで選んだキーワード集のイメージ



《お問い合わせ先》

橿原市役所 総合政策部 地域創造課

橿原市八木町 1 丁目 1 番 18 号(本館 2 階)

TEL 0744-21-1117



# ワークショップの 主な意見

## 1 班

新駅を中心とした賑わい創出や交流促進、病院利用者の  
利便性向上を重視し選出！

新駅の利便性、賑わい創出、交流促進、病院利用者の利便性向上、  
市全体の活性化を視点に必要な機能・施設を抽出

《施設配置イメージ》

東側：賑わいゾーン

西側：静かなゾーン

順位	配 置 機 能	エリア
1位	駅ビル	食事処、商店、情報、催し物
2位	地産地消のレストラン	
3位	子どもの一時預かり所	
4位	入院患者の家族の滞在用ホテル	
5位	緑と調和した施設・公園	癒しの空間、緑豊かな公園
6位	病院と駅を直結するデッキ	
7位	終末期医療のケアハウス	
8位	多目的交流センター	病気の悩みを相談
9位	働く場	医療に関連する会社の誘致等
10位	学生寮	空き地、空き家の活用した学生の住みやすいアパートの建設等

## 2 班

幅広い意見が出たため、順位はつけず、重複票の項目を  
最優先として抽出し選出！

「健康」、「交流」、「生活・暮らし」について、項目毎に地域住民や学生、子育て  
世代、医療関係者など、様々な視点から必要な機能・施設を抽出

《施設配置イメージ》

東側：大学病院との連携ゾーン

西側：自然環境と調和したゾーン

《最優先》

順位	配 置 機 能	エリア
—	駅からの散歩コース	全体
—	長期滞在者用賃貸住宅	患者の家族用
—	駅周辺の景観と駅施設との調和	全体
—	安心して子どもを預け入れできる場所	西
—	緑の中で子育てできる施設を充実させる	西
—	駅から新キャンパスへの緑道整備	西

《優先》

順位	配 置 機 能	エリア
—	温浴施設+フィットネス	シルクの杜の ような施設
—	大学等の学校とコラボした企画・ イベントができる場所	
—	患者さんが気軽に利用できるような複合商業施設	
—	近隣自治会との連携	
—	医大と町内自治会、四条町の3か所の集会所が必要	

## 3 班

歩行者動線を確保することで各施設を繋ぎ、医大との  
連携や周辺地区にない機能を選出！

八木駅前にはない機能、子育てのしやすさ、病院利用者、患者家族の利便  
性向上、安全と安心、医大を活かした機能、交流促進を視点に必要な機能・  
施設を抽出

《施設配置イメージ》

東西を繋ぐ歩行空間を確保することで一体のゾーンになるとの考えから  
ゾーン分けは行わなかった。

順位	配 置 機 能	機 能
1位	地元野菜の直売所	まほろばキッチン等
2位	ペDESTリアンデッキ	
3位	歩車分離された道路空間	
4位	入院患者の家族の滞在用ホテル	
5位	子供広場	キッズ広場 (病院の待ち時間対策等を含む)
6位	学生寮	空き地、空き家の活用した学生の住みやすいアパートの建設等
7位	医者との交流の場	
8位	休日診療できる診療所等を集積	
9位	出産に係る滞在型の事前・事後施設	
10位	防災公園の整備	⇒防災に必要なスペース（緑） の確保

## 4 班

医大の機能を活かすこと、子育て世代の意向を反映すること  
を意識し、必要機能を選出！

医大の機能を活かすこと、若い子育て世代の意向を反映することを視点に必要な  
機能・施設を抽出

《施設配置イメージ》

東側：病院との連携及び交流ゾーン

西側：大学及び地元自治会との連携ゾーン

順位	配 置 機 能	機 能	エリア
1位	病院と駅を直結するデッキ		東
	助産師（医師）との交流の場		東
3位	医療に関する企業の誘致		西
	働く場		西
	学生寮	空き地、空き家の活用した学生の住みやすいアパートの建設等	西
5位	通院する子供連れが待つ施設		東
	大学等の学校とコラボした企画・ イベントができる場所		東
7位	四条池の有効活用	⇒公園化する	西
8位	地産地消のレストラン		西
9位	十分な広さの駐車場		東
10位	歴史・文化・伝統ツアーや スタンプラリー	情報技術、スマホ等活用	西

## 5 班

駅の東西エリアにおけるコンセプトを念頭に、当該地に  
必要な機能・施設を選出！

当該地に必要な機能(ここでもなくてもよい機能を除く)を選出した上で、東西で  
下記に示したコンセプトを設定し、必要な機能・施設を抽出

《施設配置イメージ》

東側：病院との連携ゾーン

西側：賑わい創出ゾーン

順位	配 置 機 能	機 能	エリア
—	ウォーキングが楽しくできる施設		東
—	終末期医療のケアハウス		東
—	多目的交流センター	病気の悩みを相談	西
—	スーパー		東
—	飲食を中心とした商業施設		西
—	四条池の有効活用	⇒公園化する	東
—	地産地消のレストラン		西
—	長期滞在者用賃貸住宅	患者の家族用	東
—	商業複合施設	文房具、生活雑貨、日用品	西
—	歩車分離された道路空間		東

1班



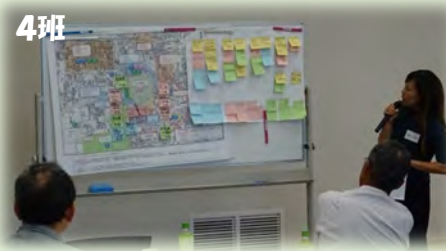
2班



3班



4班



5班

